

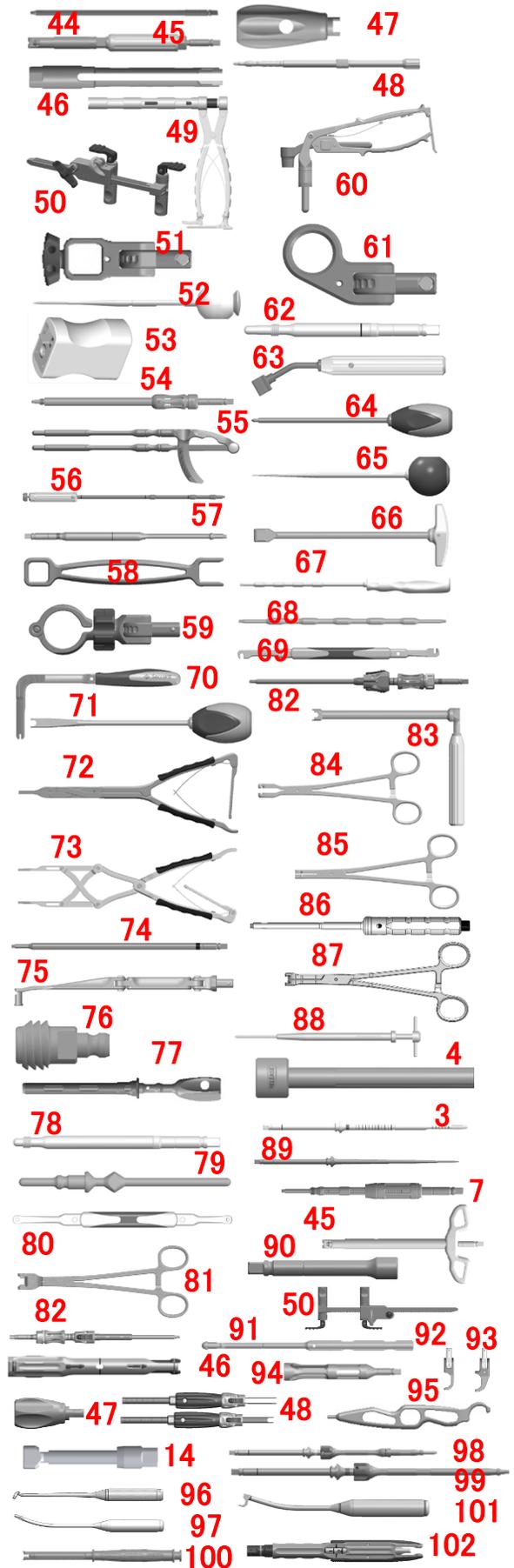
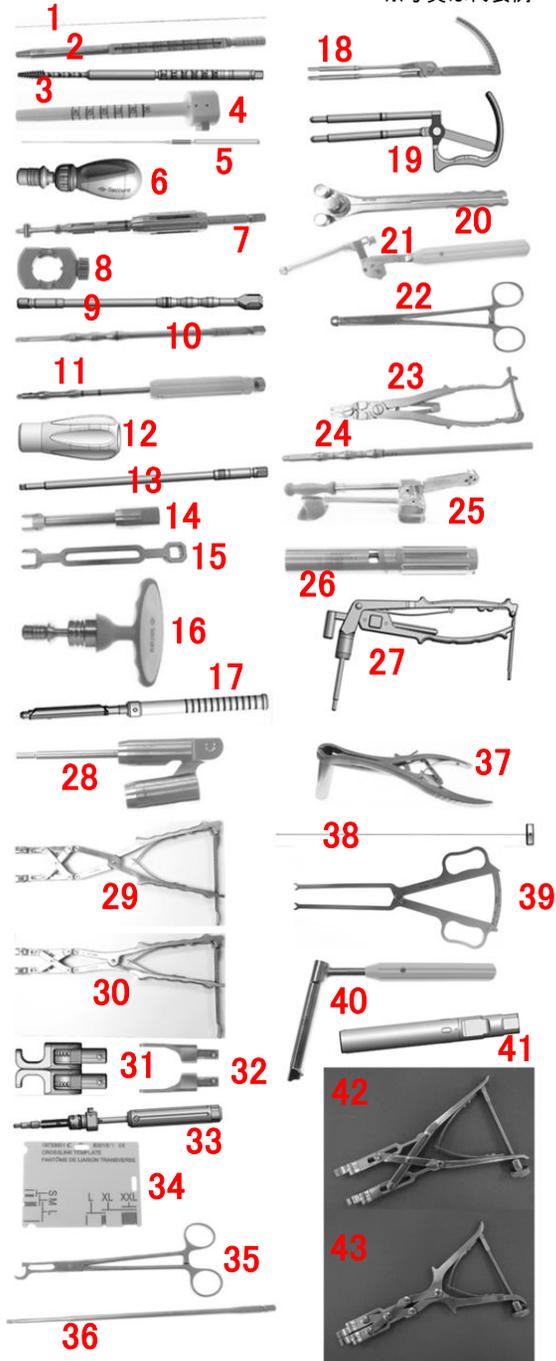
機械器具(58) 整形用機械器具
一般医療機器 脊椎手術用器械 70963001

Saccura(サキュラ) スパイナル システム手術器械

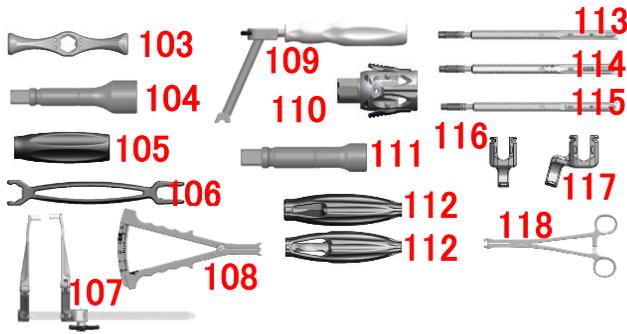
【禁忌・禁止】
 <適用対象(患者)>
 金属に対して重篤なアレルギーがある患者
 <併用医療機器>
 本品は他社製インプラント及び他社製器具器械に使用しないこと。[「相互作用」の項を参照]
 <使用方法>
 脊椎外科の脊椎固定術以外への使用[破損のおそれ]

【形状、構造及び原理等】*

- 製品外観と製品名
下記の構成品から成る。
- 材質:ステンレス鋼、チタン合金、ニッケルチタン合金、チタン、樹脂
※写真は代表例



手術手技書を必ずご参照下さい。



- | | |
|----------------------|---------------------|
| 101.フックスター | 110.ロッドリデューサー/Ex |
| 102.ロッドリデューサーズレッド | 111.締結用アタッチメント/Ex |
| 103.リダクションハンドル | 112.リダクションハンドル/Ex |
| 104.アタッチメントシャフト | 113.ロッドリデューサー |
| 105.アタッチメントハンドル | 114.ロッドリデューサー |
| 106.カウンターハンドル | 115.ロッドリデューサー |
| 107.PS間ディストラクター | 116.フックライアル |
| 108.トランスバースFIX用キャリパー | 117.オフセットフックライアル |
| 109.トランスバースFIX用カウンター | 118.トランスバースFIX用ホルダー |

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1.ガイドワイヤー | 53.タブ折り台 |
| 2.スクリューレングスゲージ | 54.PASドライバー |
| 3.タップ | 55.ロッドレングスゲージEx |
| 4.タップダイレーター | 56.セットスクリューインサーターEx |
| 5.サウンダー | 57.T25ドライバーシャフトEx |
| 6.ラチェットハンドル | 58.カウンターハンドルEx |
| 7.T-PASドライバー | 59.ディストラクターコンプレッサー |
| 8.タブスペーサー | 先端アームEx |
| 9.スクリューヘッドアジャスター | 60.クイックコンプレッサーEx |
| 10.T20ドライバーシャフト | 61.PS間ディストラクター用 |
| (センタリング機能付き) | 先端アーム/タブスクリュー |
| 11.セットスクリューインサーター | 62.PS間ディストラクター用 |
| 12.アタッチメントハンドル | 強化シャフト/タブスクリュー |
| 13.T25セットスクリュー | 63.PS間ディストラクター用 |
| ドライバーシャフト | 強化カウンター/タブスクリュー |
| 14.MANIP ステティック | 64.オウル |
| 15.カウンターハンドル | 65.プローブ |
| 16.トルクハンドル | 66.スクリューヘッドアジャスター |
| 17.タブリムーバー | /OPEN |
| 18.ロッドレングスゲージ1 | 67.T25リテニングドライバー |
| 19.ロッドレングスゲージ2 | 68.T25リテニングドライバー |
| 20.フレンチベンダー | /ダブルエンド |
| 21.ロッドインサーター | 69.インサイチューベンダー |
| 22.ロッドホルダー | 70.フロントルベンダー |
| 23.パワーロッドホルダー | 71.ロッドプッシャー |
| 24.ロッドチェッカー | 72.パラレルディストラクター/OPEN |
| 25.テーブルトップカッター | 73.パラレルコンプレッサー/OPEN |
| 26.タブコントロールスリーブ | 74.T25ドライバーシャフト/OPEN |
| 27.クイックコンプレッサー | 75.PS間ディストラクター用 |
| 28.MANIP ジャケット | 先端アーム/OPEN |
| 29.パラレルコンプレッサー | 76.スクリュー/OPEN |
| 30.パラレルディストラクター | 77.インサーター/OPEN |
| 31.PPS用先端チップ | 78.PS間ディストラクター用 |
| 32.OPEN用先端チップ | 強化シャフト/OPEN |
| 33.One Pass リデューサー | 79.ペディクルマーカー |
| 34.トランスバースサイザー | 80.ロッドローテーションレンチ |
| 35.トランスバースホルダー | 81.ロッドフォーク クランプ |
| 36.T20トランスバース | 82.PASドライバーEx |
| ドライバーシャフト | 83.カウンタートルク |
| 37.マルチスプレッダー | 84.インプラントホルダー |
| 38.クリーニングスタイルット | 85.コネクターホルダー |
| 39.トランスバースキャリパー | 86.ペディクルマーカーハンドル |
| 40.トランスバース用カウンター | 87.ロッドコネクターホルダー |
| 41.レスキュー用チューブ | 88.仙骨穿孔器 |
| 42.パラレルコンプレッサー[ネジ式] | 89.ストレートプローブ/NV-M |
| 43.パラレディストラクター[ネジ式] | 90.ディストラクターコンプレッサー |
| 44.T20ドライバーシャフト | /ソケット |
| (センタリング機能なし) | 91.エクステンダーガイド |
| 45.除去用ドライバー | 92.ディストラクション先端チップ |
| 46.エクステンダー | 93.コンプレッション先端チップ |
| 47.エクステンダー固定用ハンドル | 94.リダクションアタッチメント |
| 48.ロッドリデューサー | 95.解除レンチ |
| 49.ロッドリデューサーワンハンド | 96.フックポジションナー |
| 50.ディストラクターコンプレッサー | 97.フックドライバー |
| 51.ディストラクターコンプレッサー | 98.T-PASドライバー/NV-M |
| 先端アーム | 99.PASドライバー/NV-M |
| 52.キャニキュレテッドプローブ | 100.MAS化アダプター把持器 |

【使用目的又は効果】

脊椎固定術等の脊椎手術のために用いる再使用可能な手動式の手術器械である。

【使用方法等】

下記の使用方法は脊椎外科の一般的な使用方法の例示である。詳細な手術手技については手技書等を参照すること。また、本品使用前には必ず滅菌してから使用すること。
(詳細は、[保守・点検に係わる事項]滅菌方法の項、参照。)

【例示1: OPEN手技】

1. スクリュー刺入孔を作成
2. ポリアクシャルスクリューを刺入
3. ロッドをスクリューヘッドへ設置
4. セットスクリューをスクリューヘッドへ設置
5. 最終締結
6. 必要に応じ、トランスバースコネクターをロッドに設置

【例示2: MIS手技】

1. X線透視下にて、ガイドワイヤー設置
2. X線透視下にて、ガイドワイヤーに沿ってタッピング
3. X線透視下にて、ガイドワイヤーに沿ってポリアクシャルスクリューを刺入
4. ロッドをタブ間から挿入
5. X線透視下にて、ロッドの位置を確認
6. セットスクリューをスクリューヘッドへ設置
7. 最終締結
8. タブ切離

注)本手術器械は、【形状、構造及び原理】欄に記載の構成部品を適宜組み合わせて使用する。

【使用上の注意】*

1.重要な基本的注意

- (1)本品使用前に目視点検等を行い、著しく変形及び摩耗していた場合は、破損のおそれがあるため使用しないこと。
- (2)インプラントのサイズ選択時には、本品に表示されている目盛を目安として、医師の判断のもと慎重に選択すること。
- (3)ガイドワイヤーやタップ等の特に軸径の細い器械を使用する際には、無理な応力を掛けた操作を行わないこと[変形・破損のおそれがある]。
- (4)本品がハイリスク手技に使用された場合には、プリオン病感染予防ガイドラインに従った洗浄、滅菌を実施すること。
- (5)本品がプリオン病の感染症患者への使用及びその汚染が疑われる場合には、製造販売業者又は貸与業者に連絡すること。

2.相互作用 併用禁忌

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
他社製インプラント 他社製器具器械	正常な機能が得られないおそれがある	操作上の整合性が確認されていない

3.不具合・有害事象

- (1)重大な不具合
 - ・変形
 - ・破損
 - ・変色
 - ・腐食
- (2)重大な有害事象
 - ・組織等の損傷
 - ・感染症
 - ・折損及び破損片の体内遺残

【保管方法及び有効期間等】

使用期限:不良な点(変形、傷、金属部分のサビ等)が認められたとき。

【保守・点検に係わる事項】

1.洗淨方法

- (1)組み合わせて使用したもの、取り外しのできるものは全て取り外した上で洗淨すること。
- (2)中性の酵素洗剤を使用し、柔らかいスポンジ、ブラシ等を用いて洗淨すること。
- (3)脱イオン水を使用し、十分にすすぎ洗いをを行うこと。
- (4)血液、洗剤等異物が付着していないことを確認すること。

注意

苛性ソーダ、ホルマリン、グルタルアルデヒド及びブリーチを含む洗淨液やその他のアルカリ性、酸性洗淨剤は使用しないこと。

2.滅菌方法

高圧蒸気滅菌を「ISO/TS 17665-2で推奨されている条件※2」

もしくは「医療機関で担保された条件」に従い、実施すること。

※2: 121℃/15min、126℃/10minまたは134℃/3min

(処理温度 / 最低時間)

注意

変性や劣化が生じるおそれがあるため、135℃を超える温度を加えないこと。

注意

感染症を有する患者及びその疑いのある患者に使用した器具を再使用する場合には、確実な滅菌を徹底すること。特に、クロイツフェルト・ヤコブ病患者、又はその疑いのある患者に使用した場合は、最新の国内規制及びガイドライン等を遵守すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

・製造販売業者

帝人ナカシマメディカル株式会社

TEL. 086-279-6278(代表)

・製造業者

帝人ナカシマメディカル株式会社